# 令和元年度防災連続セミナー報告（総括）

政策研究大学院大学においては、平成２４年度に防災・復興・危機管理プログラムが開設され、また、平成２８年度からは公共政策プログラム 防災・危機管理コースと名称を改め、新たな研究教育に取り組んでいる。

この取組みの一環として、令和元年度において防災連続セミナー（防災・危機管理に係る連続セミナー）を実施することとしたところである。

本セミナーは、本学政策研究センター長期学術会議支援事業に位置付けられ、「災害・危機への取組みと課題」の共通テーマのもと、年間１０回にわたり開催された。

防災・危機管理政策の立案にあたっては、様々な機関や実務家、専門家等による取組みの実態を踏まえることが重要であり、各種災害や危機に対応するために取り組んでおられるキーパーソンの方々に講師をお願いした。

セミナーの実施に当たっては、各講師がいま最も精力的に取り組んでおられる事柄を主題にお話しいただくとともに、参加者との質疑応答を通じ、取組みの現状や問題点、今後の課題等について共有することができるよう努めたところである。

各回とも、防災・危機管理コースの学生をはじめ、本学の学生・教員、防災関係機関の職員、防災に関心を持つ方々など多くの皆様に参加いただき、開かれた、活気あふれたセミナーとすることができた。

ここに、令和元年度防災連続セミナーの概要について報告するものである。

結びに、政策研究センターをはじめ各講師の先生方、参加いただいた方々、運営にご協力いただいた方々など関係者の皆様に深く感謝申し上げる次第である。

令和２年３月

政策研究大学院大学 防災・危機管理コース ディレクター

武田　文男

第１回防災連続セミナー終了報告書

1.　実施日時：令和元年６月５日（水）13：20～14：50

2.　場所：政策研究大学院大学講義室M

3.　参加者（人数）：68 名（内部（本学学生 14 名・教職員 4 名）：18 名、外部(防災関係機関 職員など防災・危機管理に関心のある者)：50 名）

4.　内容：

・挨拶、司会進行　　武田 文男本学防災・危機管理コースディレクター
・講師　　鍵屋 一跡見学園女子大学教授
・演題　　大規模災害を乗り越える地域防災力

5.　成果：

　鍵屋 一先生に、首都直下地震や南海トラフ地震、大規模水害等に備え、近所・友人・福祉関係者との連携、排除される人のいない魅力ある地域を作る「魅力増進型」の防災、地区防災計画・福祉防災計画の重要性等について講義いただくとともに、参加者との質疑応答が行われた。

　これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである鍵屋 一先生が持っておられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナーとして終了した。

以上、報告します。
（企画・運営担当教員）　防災・危機管理コース ディレクター　　武田 文男

第２回防災連続セミナー終了報告書

1．実施日時：令和元年 6 月 12 日（水）13：20～14：50

2．場所：政策研究大学院大学講義室Ｌ

3．参加者（人数）：　67　名（内部（本学学生　16 名・教職員　5 名）：　21　名、外部(防災関係機関職員など防災・危機管理に関心のある者)：　46　名）

4．内容：
・挨拶、司会進行　　武田文男本学防災・危機管理コースディレクター
・講師　　折木良一　元防衛省統合幕僚長
・演題　　危機管理とリーダーシップ

5．成果：
東日本大震災発生当時、自衛隊のトップである防衛省統合幕僚長として災害派遣の指揮をとられるなど、これまで多くの危機に対応されてこられた折木良一先生に、危機管理の実働組織としての自衛隊の経験を踏まえ、「組織力、現場力、人間力」「リーダーの責任、重要性」「情報・備え・訓練がキーポイント」等について講義いただくとともに、参加者との質疑応答が熱心に行われた。これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである折木良一先生が持っておられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナーとして終了した。

以上、報告します。
（企画・運営担当教員）　防災・危機管理コース ディレクター　武田 文男

第３回防災連続セミナー終了報告書

1．実施日時:令和元年 6 月 19 日（水）13：20～14：50

2．場所:政策研究大学院大学講義室５Ｍ

3．参加者（人数）：　62　名（内部（本学学生　10 名・教職員　3 名）：　13　名、外部(防災関係機関職員など防災・危機管理に関心のある者)：　49 名）

4．内容
・挨拶、司会進行　　武田文男本学 防災・危機管理コースディレクター
・講師　　防衛医科大学校　准教授　　秋冨　慎司　氏
・演題　　災害・医療・情報

5．成果
災害医療の専門家である秋冨慎司先生に、阪神・淡路大震災、ＪＲ福知山線事故、岩手・宮城内陸地震, 東日本大震災、熊本地震等を通じ、災害による直接死、災害後の関連死の状況、災害により死亡が発生する時間軸、福島原発事故避難者を取り巻く厳しい現状、救急医療・災害医療の課題などについて講義いただくとともに、参加者との質疑応答が熱心に行われた。これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである秋冨慎司先生が持っておられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナーとして終了した。

以上、報告します。
（企画・運営担当教員）　防災・危機管理コース ディレクター　　武田　文男

第４回防災連続セミナー終了報告書

1．実施日時

令和元年 6 月 26 日（水）13：20～14：50

2．場所

　政策研究大学院大学講義室５Ｍ

3．参加者（人数）：　58　名（内部（本学学生　10 名・教職員　5 名）：　15　名、外部(防災関係機関職員など防災・危機管理に関心のある者)：　43 名）

4．内容
・挨拶、司会進行　　武田 文男 本学 防災・危機管理コース ディレクター
・講師　　東京大学客員教授　伊藤 哲朗　氏
・演題　　危機管理の要諦

5．成果
元内閣危機管理監の伊藤哲朗先生に、阪神・淡路大震災や東日本大震災・福島原子力発電所事故の教訓、危機管理に当たっての価値観の共有、優先順位の決定、危機管理の根底となる考え方などについて講義いただくとともに、参加者との質疑応答が熱心に行われた。

これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである伊藤哲朗先生が持っておられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナーとして終了した。

以上、報告します。
（企画・運営担当教員）　防災・危機管理コース ディレクター　　武田　文男

第５回防災連続セミナー終了報告書

1．実施日時：令和元年７月３日（水）13：20～14：50

2．場所：政策研究大学院大学講義室M

3．参加者（人数）：　５０名（内部（本学学生１２名・教職員　４名）：１６名、
外部(防災関係機関職員など防災・危機管理に関心のある者)：３４名）

4．内容：
・挨拶、司会進行　　武田文男本学防災・危機管理コースディレクター
・講師　　国際大学 GLOCOM 准教授　櫻井　美穂子　氏
・演題　　自治体の災害対応と情報システム ～東日本大震災の教訓から～

5．成果：
国際大学 GLOCOM 准教授 櫻井美穂子先生に、東日本大震災が被災自治体の ICT に与えた影響、レジリエントな情報システムの必要性や実現方法、現場の具体的な対応における重要性等について講義いただくとともに、参加者との質疑応答が熱心に行われた。
これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである櫻井美穂子先生が持っておられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナーとして終了した。

以上、報告します。
（企画・運営担当教員）　防災・危機管理コース ディレクター　　武田 文男

第６回防災連続セミナー終了報告書

1．実施日時：令和元年７月１７日（水）13：20～14：50

2．場所：政策研究大学院大学講義室M

3．参加者（人数）：　４６名（内部（本学学生９名・教職員　２名）：１１名、
外部(防災関係機関職員など防災・危機管理に関心のある者)：３５名）

4．内容：
・挨拶、司会進行　　武田文男本学防災・危機管理コースディレクター
・講師　　日本防災士機構 理事・事務総長　　橋本　茂　氏
・演題　　地域防災力の向上と防災士の活動

5．成果：
日本防災士機構 理事・事務総長 橋本　茂先生に、阪神・淡路大震災を契機とした防災士制度誕生に至る苦労や、多くの関係者の協力、17 万人を超える大きな地域防災力への進展、避難所運営やボランティアのあり方など民間・地域・現場からの教訓等について講義いただくとともに、参加者との質疑応答が熱心に行われた。
これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである橋本　茂先生が持っておられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナーとして終了した。

以上、報告します。
（企画・運営担当教員）　防災・危機管理コース ディレクター　　武田 文男

第７回防災連続セミナー終了報告書

1．実施日時：令和元年７月２４日（水）13：20～14：50

2．場所：政策研究大学院大学講義室Ｌ

3．参加者（人数）：　６６名（内部（本学学生１１名・教職員　７名）：１８名、
外部(防災関係機関職員など防災・危機管理に関心のある者)：４８名）

4．内容：
・挨拶、司会進行　　武田文男本学防災・危機管理コースディレクター
・講師　　経済産業省 電力安全課 総括補佐　古川 雄一　氏
・演題　　ブラックアウトの課題と対応
～北海道胆振東部地震の全道停電の教訓～

5．成果：
経済産業省 電力安全課 総括補佐の古川 雄一先生に、北海道で電力会社管内全域停電（いわゆるブラックアウト）が発生した原因や構造、電力のレジリエンスへの点検や今後の政策対応等について講義いただくとともに、参加者との質疑応答が熱心に行われた。
これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである古川 雄一先生が持っておられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナーとして終了した。

以上、報告します。
（企画・運営担当教員） 防災・危機管理コース ディレクター　　武田 文男

第８回防災連続セミナー終了報告書

1．実施日時：令和元年 9 月 18 日（木）13：20～14：50

2．場所：政策研究大学院大学講義室M

3．参加者（人数）：　40　名（内部（本学学生 9・教職員 3）：　12　名、外部(防災関係機関職員など防災・危機管理に関心のある者)：　28　名）

4．内容：
・挨拶、司会進行　　武田文男　本学防災・危機管理コースディレクター
・講師　　青山佾（やすし）元東京都副知事、明治大学名誉教授
・演題　　近年における危機管理の一般的傾向と 2020 年東京オリ・パラ

5．成果：
東京都や明治大学で防災・危機管理政策に携わってこられた青山佾先生に、2001 年 9 月 11 日のアメリカ同時多発テロの検証結果、近年における危機管理の考え方の変遷、2020 年東京オリンピック・パラリンピックを迎える各機関の備え、自身の危機管理の現場における経験等について講義いただくとともに、参加者との質疑応答が行われた。
これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである青山佾先生が持っておられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナー
として終了した。

以上、報告します。
（企画・運営担当教員）　防災・危機管理コース ディレクター　武田 文男

第９回防災連続セミナー終了報告書

1．実施日時：令和元年９月 26 日（木）10：40～12：20

2．場所：政策研究大学院大学講義室M

3．参加者（人数）：　44　名（内部（本学学生 10 名・教職員 4 名）：　14　名、外部(防災関係機関職員など防災・危機管理に関心のある者)：　30　名）

4．内容：
・挨拶、司会進行　　武田文男　本学防災・危機管理コースディレクター
・講師　　静岡大学防災総合センター長　岩田 孝仁 氏
・演題　　南海トラフ地震対策と富士山の火山防災対策

5．成果：
静岡県庁や静岡大学で防災・危機管理政策に携わってこられた岩田孝仁先生に、減災から防災社会の構築、国土強靭化と市民力の強靭化、想像力（知恵）の強化、南海トラフ地震対策や富士山火山防災対策の課題等について講義いただくとともに、参加者との質疑応答が行われた。
これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである岩田孝仁先生が持っておられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナーとして終了した。

以上、報告します。
（企画・運営担当教員）　武田 文男　防災・危機管理コース ディレクター

第 10 回防災連続セミナー終了報告書

1. 実施日時：令和元年 10 月 3 日（木）10：40～12：40

2. 場所：政策研究大学院大学講義室M

3. 参加者（人数）：　50　名（内部（本学学生 8 名・教職員 4 名）：　12　名、外部(防災関係機関職員など防災・危機管理に関心のある者)：　38　名）

4. 内容：
・挨拶、司会進行　　武田文男　本学防災・危機管理コースディレクター
・講師　　放送大学学長補佐　奈良 由美子 氏
・演題　　災害心理とリスクコミュニケーション

5. 成果：
災害心理の専門家である放送大学学長補佐の奈良由美子先生に、リスクマネジメントとリスクコミュニケーション、客観リスクと主観リスク、認知バイアスと災害心理、リスクコミュニケーションを行ううえでのポイント等について講義いただくとともに、参加者との質疑応答が行われた。
これらを通じ、防災・危機管理に関するキーパーソンである奈良由美子先生が持っておられる深い見識、貴重な経験等を本学学生・教職員をはじめとする参加者が情報共有することができる機会となり、有意義な防災連続セミナーとして終了した。

以上、報告します。
（企画・運営担当教員）　武田 文男　防災・危機管理コース ディレクター